GAUDI

CPRM対応 DVDプレーヤー

取扱説明書

GHV-DV200シリーズ

・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

付属品を確認します。
(1 ページ)

▽

本取扱説明書に書かれている安全上のご注意、使用上のお願いをよく読みます。
(3 ～ 21 ページ)

▽

準備を行います。
(25 ページ)

▽

本機の電源を ON にします。
(25 ページ)

付属品の確認

パッケージの中に下記のものがすべて入っているかどうかご確認ください。

●GHV-DV200（本体） ・・・1 台
●専用リモコン ・・・1 個
●映像 / 音声出力専用ケーブル (コンポジット) ・・・1 本
●単 4 形アルカリ乾電池（リモコン用） ・・・2 本
●取扱説明書（本書） ・・・1 部
● 1 年間保証書 ・・・1 部

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（もし異常が起こったら）

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災･感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

●落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

●電源ケーブルのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

⚠警告

電源について

100V 以外禁止

●交流１００ボルト（５０/６０Ｈｚ）のコンセントに接続する

交流１００ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

禁止

●国外で使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

●電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源ケーブルを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災･感電の原因となります。また､電源ケーブルの刃にほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こす可能性があります。年に数回、定期的に刃のほこりを取り除いてください。

禁止

●電源プラグのコードの上に重いものをのせない

コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また､コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

●電源プラグのコードを

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または弊社カスタマサポートに交換をご依頼ください。

⚠警告

設置について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

風呂場・シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本機は防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。
内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

警告

禁止

●異物を挿入しない

ディスクトレイから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

設置について

必ず行う

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源ケーブルの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

●電源プラグのコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となるこ

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

注意

●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

注意

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について

注意

●電源を ON にする前には音量を最小にする

過大入力で本機に接続したスピーカーが破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

●本機のレーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

禁止

●長時間音が歪んだ状態で使わない

本機に接続したスピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

●本機に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

注意

●ピックアップレンズに触れない

ピックアップレンズに触れると故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注意

●ヘッドフォンをご使用になる時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因となることがあります。また、ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

⚠注意

電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない

●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる

間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

電池を取出す

●電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●５年くらいに一度は内部の掃除を販売店などにご相談ください

内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから外してから行ってください

感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

動作中は移動させない

●電源 ON 時にて動作中は本機を移動させないでください。ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つける恐れがありますので特にご注意ください。

電源 ON 時に電源プラグを絶対に抜かない

●電源 ON 時に電源ケーブルを外してしまうと本機が故障したり、ディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には電源ケーブルを外さないでください。外す前には必ず電源を OFF にしてください。

設置場所についてのご注意

●水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所には設置しないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
●本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本機が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所への設置は避けてください。
・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

●本機の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

●ディスクトレイからディスクを取り出し、電源を OFF にしてください。
●長時間使用しないときは、電源ケーブルを外してください。
●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を ON にしたままテレビやラジオを点けると画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源をOFF にしてください。

本機を移動する場合のご注意

●本機を移動したり梱包したりする場合は、必ずディスクトレイからディスクを取り出し、ディスクカバーを閉じてください。ディスクをディスクトレイに入れたまま移動しますと、故障の原因となります。
●電源 ON 時にて動作中は本機を移動させないでください。ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つける恐れがありますので特にご注意ください。

再生するときの制約

●この取扱説明書は、本機の基本的な操作の仕方を説明しています。ＤＶＤビデオディスク、ビデオＣＤは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

●ボタン操作中にテレビ画面に「 ⊘ 」と表示されることがあります。「 ⊘ 」と表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作に対応しておりません。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、本機が多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。

●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で５～６倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷・塗装がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

●お手入れの際は、電源ケーブルを外してください。

結露について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やピックアップレンズ）に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、電源ケーブルを外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源をONにしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます。

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。

・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。

・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。

・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

・結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●本機の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●弊社が関与しないディスク、ファイルなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスク	マーク		内容
DVD ビデオ ディスク			・１２ｃｍ／８ｃｍ ・リージョン番号が２およびＡＬＬ ・映像方式：ＮＴＳＣ
DVD-R/RW DVD-R DL			・１２ｃｍ ※ディスクによっては再生できない 場合があります。
DVD+R/RW DVD+R DL			・１２ｃｍ ※ディスクによっては再生できない 場合があります。
ビデオ CD			・１２ｃｍ／８ｃｍ ・映像方式：ＮＴＳＣ ・バージョン１．０／２．０
オーディオ CD			・１２ｃｍ／８ｃｍ
CD-R CD-RW			・１２ｃｍ ※ディスクによっては再生できない 場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本機は、日本のテレビ方式(ＮＴＳＣ)に適合していますので、ディスクやパッケージに「ＮＴＳＣ」と表示されているディスクをお使いください。
●市販されているＤＶＤビデオディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョン番号が「２」または「ＡＬＬ」以外のＤＶＤビデオ。
●ＤＶＤオーディオ、ＤＶＤ-ＲＡＭなど、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
●フォトＣＤ、ＣＤ-G、ＣＤ-ＲＯＭ、ＣＤ-ＥＸＴＲＡのデータなど。

DVD±R/DVD±RW/DVD±R DL ディスクの再生について

●ディスクや、データの記録状態によっては、再生できない場合があります。
●ファイナライズしていないＤＶＤ±Ｒ／ＤＶＤ±ＲＷディスクを再生することはできません。

著作権保護機能（CPRM）のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本機は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

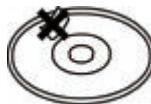
●本機は、オーディオＣＤ、またオーディオ CD 形式で記録されたＣＤ-Ｒ／ＣＤ-ＲＷディスクを再生することができます。ただしディスクや、データの記録状態によっては、再生できない、ノイズが出る、音が歪むなどのことが起きることがあります。

コピーコントロール機能のついたオーディオ CD の再生について

●複製制限機能（コピーコントロール機能）のついたオーディオＣＤの中には、正式なＣＤ規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクに指紋、ほこりなどのよごれが付くと、画像の乱れや音質低下、音とびの原因となったり、再生できなくなります。このようなときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。

●よごれがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってからよごれを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは使用できません。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると、変形する原因となります。
●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクについてのご注意

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

●ディスクの信号面にキズやよごれを付けないでください。

●ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している場合があり、ディスクの回転に支障が出る恐れがあります。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

●ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

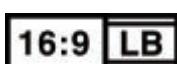
●本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因となりますのでそのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

●冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると、正常に再生ができないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからご使用ください。

ＤＶＤに表示されるマークについて

ＤＶＤのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、３種類の角度で収録されています）
	横：縦＝４：３の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝４：３で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョン番号（地域番号）

リージョン番号について

●ＤＶＤプレーヤーとＤＶＤビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョン番号）が設定されています。ＤＶＤディスクに表示されている地域番号（リージョン番号）と一致しないと再生できません。

本機の地域番号（リージョン番号）は“２”です。

本機で再生できるＤＶＤディスクのリージョン番号について

●ＤＶＤビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョンマークの中に のように“２”が含まれているか、または が表示されていないと、本機では再生できません。

著作権について

●ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。

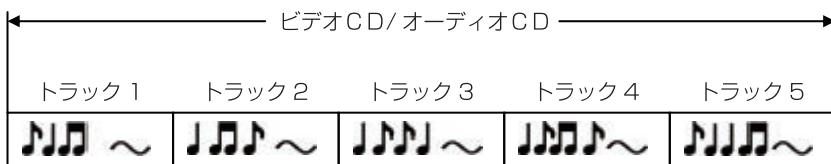
●本機は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本機を分解したり、改造することも禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Ｄｏｌｂｙ、ドルビー、Ｐｒｏ Ｌｏｇｉｃおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

ＤＶＤビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。

ビデオＣＤ／オーディオＣＤは、「トラック」で区切られています。

タイトル　：ＤＶＤビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

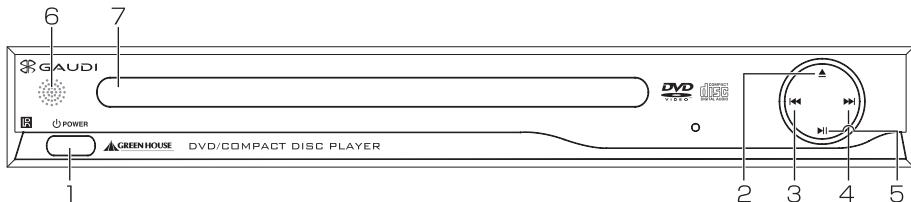
トラック　：オーディオＣＤの内容を曲ごとに区切ったもの。

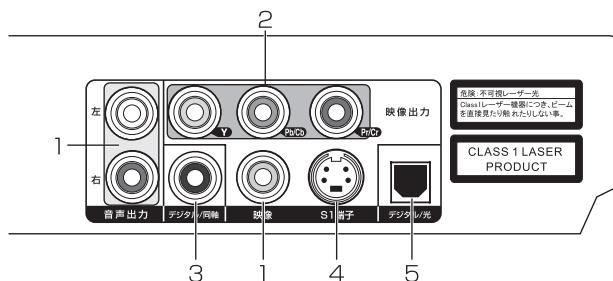
それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

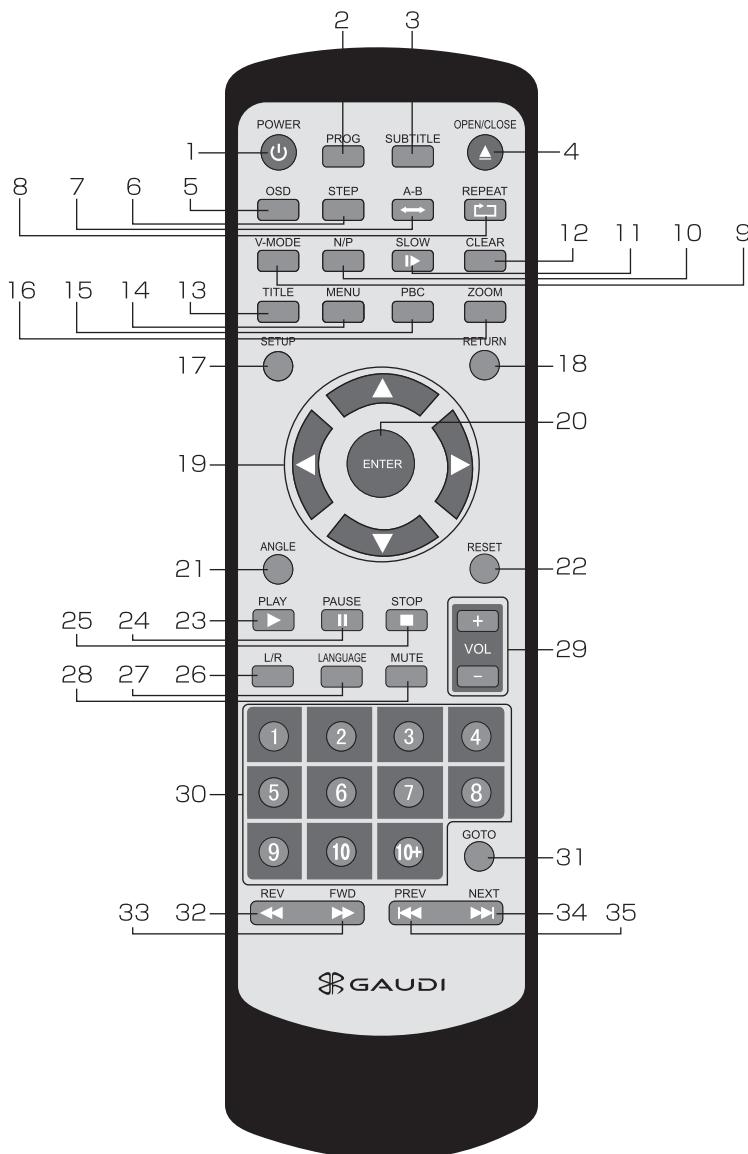
各部のなまえ

本機前面 / 背面図

前面

1：電源スイッチ　・・・　本機主電源の ON/OFF を切り換えます。
2：【OPEN/CLOSE】ボタン　・・・　ディスクトレイを開き（閉じ）ます。
3：【PREV】ボタン　・・・　再生中の前のトラックの開始位置に移動します。
4：【NEXT】ボタン　・・・　再生中の次のトラックの開始位置に移動します。
5：【PLAY/PAUSE】ボタン　・・・　再生 / 一時停止します。
6：リモコン受光部　・・・　リモコンから操作を受信します。
7：ディスクトレイ　・・・　ディスクをセットします。

背面出力端子

1：コンポジット端子（黄、赤、白）× 各 1
2：コンポーネント端子（Y、Pb/Cb、Pr/Cr）× 各 1
3：同軸デジタル音声端子
4：S1 映像端子
5：光デジタル音声端子（角形）

リモコン

2
3
POWER
PROG
SUBTITLE
OPEN/CLOSE
1
4
8
7
6
5
OSD
STEP
A-B
REPEAT
12
11
10
9
V-MODE
N/P
SLOW
CLEAR
16
15
14
13
TITLE
MENU
PBC
ZOOM
SETUP
RETURN
17
18
20
19
ENTER
ANGLE
RESET
21
22
PLAY
PAUSE
STOP
25
24
23
29
VOL
L/R
LANGUAGE
MUTE
28
27
26
30
GOTO
31
REV
FWD
PREV
NEXT
33
32
34
35
GAUDI

1：【POWER】ボタン ・・・ 本機をスタンバイ状態へ移行（復帰）します。
2：【PROG】ボタン ・・・ プログラム再生を行います。
3：【SUBTITLE】ボタン ・・・ 字幕を表示します。
4：【OPEN/CLOSE】ボタン ・・・ ディスクトレイを開き（閉じ）ます。
5：【OSD】ボタン ・・・ 再生時間を表示します。
6：【STEP】ボタン ・・・ コマ送り再生を行います。
7：【A-B】ボタン ・・・ 指定区間のリピート再生を行います。
8：【REPEAT】ボタン ・・・ リピート再生の設定を行います。
9：【V-MODE】ボタン ・・・ 映像出力を切り換えます。（YUV/S-VIDEO）
10：【N/P】ボタン ・・・ 映像方式を切り換えます。（NTSC/PAL/AUTO）
11：【SLOW】ボタン ・・・ スロー再生の設定を行います。
12：【CLEAR】ボタン ・・・ テンキーボタンで入力した数字を消去する場合に使用します。
13：【TITLE】ボタン ・・・ タイトルメニューを表示します。
14：【MENU】ボタン ・・・ ルートメニューを表示します。
15：【PBC】ボタン ・・・ ビデオ CD 再生時に頭出しを行います。
16：【ZOOM】ボタン ・・・ 映像の拡大再生や画像の拡大（縮小）表示を行います。
17：【SETUP】ボタン ・・・ 設定メニューを表示します。
18：【RETURN】ボタン ・・・ ルートメニューを表示します。
19：カーソルボタン ・・・ カーソルの移動を行います。
20：【ENTER】ボタン ・・・ 各項目で決定を行います。
21：【ANGLE】ボタン ・・・ 再生中のアングルを切り換えます。
22：【RESET】ボタン ・・・ OSD メニューの設定を工場出荷値に戻します。
23：【PLAY】ボタン ・・・ ディスクやファイルの再生を行います。
24：【PAUSE】ボタン ・・・ 再生中のディスクやファイルを一時停止します。
25：【STOP】ボタン ・・・ 再生中のディスクやファイルを停止します。
26：【L/R】ボタン ・・・ 音声を切り換えます。
27：【LANGUAGE】ボタン ・・・ 再生中の音声言語を切り換えます。
28：【MUTE】ボタン ・・・ 消音にします。
29：【VOL】ボタン ・・・ 再生中の音量を調整します。
30：テンキーボタン ・・・ 入力した番号のチャプターやトラックへ移動します。
31：【GOTO】ボタン ・・・ 再生時間を指定してサーチ再生できます。
32：【REV】ボタン ・・・ 再生中のディスクやファイルの早戻しを行います。
33：【FWD】ボタン ・・・ 再生中のディスクやファイルの早送りを行います。
34：【NEXT】ボタン ・・・ 再生中の次のチャプターやトラックの開始地点へ移動します。
35：【PREV】ボタン ・・・ 再生中の前のチャプターやトラックの開始地点へ移動します。

●ディスクに収録されているデータの種類により上記の通り動作しない場合がございます。

リモコンに電池を入れる

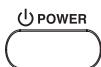
付属または市販の単 4 形乾電池 2 つをリモコンに入れます。

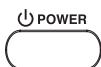
●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を一緒に使わないでください。
●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●電池の「+」「−」の極性を間違えないように装着してください。

操作方法と解説について

本機の操作の多くが付属のリモコンから行います。操作方法はリモコンを中心に解説いたしますのでご了承ください。
また、解説内容も DVD ビデオを挿入した場合を中心に解説いたします。
ビデオ CD、オーディオ CD を挿入した場合、使用できる機能や画面が一部異なる場合がありますが、操作方法は同等になりますので置き換えてご覧ください。

電源操作

電源を ON にするには

本機前面の【POWER】ボタンを押すと、電源が ON になります。
前面の LED がブルーに点灯し、画面には「GAUDI」の壁紙が表示されます。

電源を OFF にするには

本機前面の【POWER】ボタンを再度押すと、電源が OFF になります。
前面の LED が消灯します。

スタンバイ状態にするには

POWER
本機の電源 ON の状態でリモコンの【POWER】ボタンを押すと、スタンバイになり、前面の LED が消灯します。もう一度押すと電源 ON になり、LED が点灯します。

●本機の電源が OFF の状態ではリモコンの【POWER】ボタンは動作いたしません。

再生（基本編）

DVD ビデオディスク、ビデオCD、オーディオCD を再生する

１．ディスクトレイを出します。

本機前面の【OPEN/CLOSE】ボタン、またはリモコンの【OPEN/CLOSE】ボタンを押してディスクトレイを出します。

２．ディスクを入れます。

再生面を下にして、ディスクトレイにディスクを置きます。

３．ディスクトレイを閉めます。

本体前面の【OPEN/CLOSE】ボタン、またはリモコンの【OPEN/CLOSE】ボタンを押してディスクトレイを閉じます。自動的に再生が開始されます。

●本機で再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。

再生を停止する

リモコンの【STOP】ボタンを押します。
再生が停止し、「GAUDI」のロゴ画面になり「■」と表示されます。
オーディオ CD の場合は、常に「GAUDI」のロゴ画面が表示されています。

停止した位置から再開する

リモコンの【PLAY】ボタンを押します。
一度だけ【STOP】ボタンを押した場合、本機は【STOP】ボタンが押された位置を記憶しています。【PAUSE】ボタンでも同様になります。この時【PLAY】ボタンを押すと、停止した位置から再生します。

ディスクの先頭から再生する

STOP ×2回
PLAY

本機またはリモコンの【STOP】ボタンを続けて 2 回押します。画面に「■」と表示されます。ここで【PLAY】ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生が始まります。

早送り / 早戻しする

REV FWD

再生中、リモコンの【FWD】ボタンを押すと早送り再生に、【REV】ボタンを押すと早戻し再生になります。
それぞれボタンを押すごとに「2×」「4×」「8×」「16×」「32×」再生できます。
通常再生に戻るにはリモコンの【PLAY】ボタンを押してください。

前後のチャプター / トラックへ

PREV NEXT

再生中、リモコンの【NEXT】ボタンを押すと次のチャプターに、【PREV】ボタンを押すと前のチャプターに戻ります。

音量調整

再生中、リモコンの VOL ボタンの【+】【−】で音量調整でき、「0」、「1」～「20」の間で調整できます。

ミュート（消音）

MUTE

再生中、リモコンの【MUTE】ボタンを押すと消音状態となります。
消音状態を解除するには、もう一度【MUTE】ボタンを押します。

メニュー画面（DVD ビデオディスク）

メニュー画面が記録されているＤＶＤビデオディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選んでの再生や、音声や字幕の設定ができるものがあります。

MENU

リモコンの【MENU】ボタンを押します。

ＤＶＤビデオディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。
リモコンのカーソルボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの【ENTER】ボタンを押すと選択した項目が決定されます。

●メニューが記録されていないディスクでは、メニュー画面を使った再生はできません。
●再生すると、はじめにメニュー画面が表示される DVD ビデオディスクもあります。
●この手順は基本的な操作手順です。再生する DVD ビデオディスクの記録方式によっては
手順が異なりますので、メニュー画面に表示される手順に従ってください。
●ディスクが対応していない操作を行うと、画面に「⊘」と表示され、操作できません。

DVD ビデオディスク、ビデオCD、オーディオCD を再生する

テンキーボタンを使ってサーチ再生する

チャプターまたはトラックを指定して頭出し再生できます。
リモコンのテンキーボタンで目的のチャプターまたはトラック番号を押すと、
その番号のチャプターまたはトラックから再生されます。

10 以上の番号を指定する場合は、リモコンの【10+】ボタンで入力してください。
【10+】ボタンを複数回押すと、10 の位の値が増加します。

GOTO ボタンを使ってサーチ再生する

リモコンの【GOTO】ボタンで、ご覧になりたいチャプターや時間を指定して、
頭出し再生できます。数字の入力はテンキーボタンより行います。入力した数字
を消去したい場合は【CLEAR】ボタンを押してください。

1 回ボタンを押すと、例として右のように表示され
チャプターを指定できます。

TT : 01/03　CH : ☐/36

続けて 2 回ボタンを押すと、例として右のように
表示され時間を指定できます。

TT : 01/03　Time　:　:

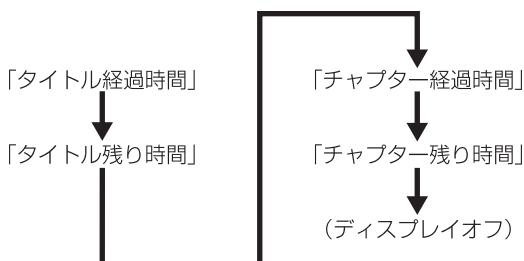
続けて 3 回ボタンを押すと、例として右のように
表示され、再生中のチャプター内で時間を指定できます。

CH : 01/03　Time　:　:

便利な再生機能

再生中の情報を表示する

OSD

再生中にリモコンの【OSD】ボタンを押すと再生中の情報を表示できます。
ボタンを押すごとに以下の情報が表示できます。
以下は DVD ビデオディスクの一例です。

●ディスクの状態によっては、時間等が正常に表示されない場合があります。
●オーディオ CD の場合は表示が異なりますが、操作方法は同じになります。

音声を切り換える

LANGUAGE

再生中にリモコンの【LANGUAGE】ボタンを押すと、複数の音声が記録されているディスクでは音声が切り換えられます。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り換える場合があります。
●一つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。

字幕を切り換える

再生中にリモコンの【SUBTITLE】ボタンを押すと、字幕の表示 / 非表示が切り替えられます。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り換える場合があります。
●字幕が記録されていないディスクや、一つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り換えはできません。

アングルを切り換える

再生中にリモコンの【ANGLE】ボタンを押すと、アングルが切り替えられます。テンキーボタンでご覧になりたいアングル番号を入力してください。

●ディスクによっては、メニュー画面を使ってアングルを切り換える場合があります。
●一つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り換えはできません。

ズーム再生

ZOOM

DVD ビデオディスクの再生中に、リモコンの【ZOOM】ボタンを押すと、ズーム再生になります。「2×」「3×」「4×」が選択でき、カーソルボタンで上下左右に画面を移動できます。
「4×」ズームの時にもう一度リモコンの【ZOOM】ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

●ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
●場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
●DVD ビデオ、ビデオ CD 再生中以外では機能しません。

コマ送り再生

リモコンの【STEP】ボタンを押すごとに、映像がコマ送り再生できます。
通常再生に戻るにはリモコンの【PLAY】ボタンを押してください。

スロー再生する

再生中にリモコンの【SLOW】ボタンを押すごとに「1/2」「1/4」「1/8」「1/16」でスロー再生できます。
通常の再生に戻るには、もう一度【SLOW】ボタンを押してください。

- ●スロー再生中は音声再生されません。
- ●ディスクによってはスロー再生できない場合がございます。
- ●オーディオ CD では機能しません。

リピート再生

リモコンの【REPEAT】ボタンを押すごとにリピートモードを切り換えできます。

DVD ビデオディスク

「チャプター」	現在のチャプターを繰り返し再生します。 チャプターの最後まで来ると、チャプターの先頭から再生が始まります。
「タイトル」	現在のタイトルを繰り返し再生します。 タイトルの最後まで来ると、タイトルの先頭から再生が始まります。
「オール」	タイトル、チャプターに関係なく、ディスク全体を繰り返し再生します。
「オフ」(未表示)	リピート機能を無効にします。

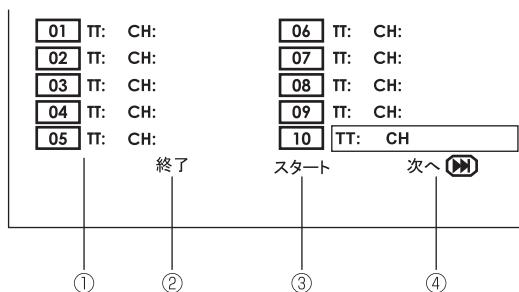
ビデオ CD、オーディオ CD

「トラック」	現在のトラックを繰り返し再生します。 トラックの最後まで来ると、トラックの先頭から再生が始まります。
「オール」	トラックに関係なく、ディスク全体を繰り返し再生します。
「オフ」(未表示)	リピート機能を無効にします。

指定区間リピート再生

好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。
再生中、リモコンの【A-B】ボタンを押すと、A 点が設定されます。
続けて再度リモコンの【A-B】ボタンを押すと、B 点が設定され、A点とB点の間を繰り返し再生します。
通常の再生に戻るには、もう一度【A-B】ボタンを押してください。

プログラム再生

お好みの順にタイトル、チャプターを 20 番目までプログラムして再生できます。
DVD 再生中にリモコンの【PROG】ボタンを押します。
画面に下図のようなメニューが表示されます。（DVD ディスクの一例です。）

① ・・・「TT：」にはタイトル番号を「CH：」にはチャプター番号が入力できます。
リモコンの【ENTER】ボタンで入力モードに切り替わり、テンキーボタンで数字を入力できます。リストから消去したい場合は【CLEAR】ボタンを押してください。

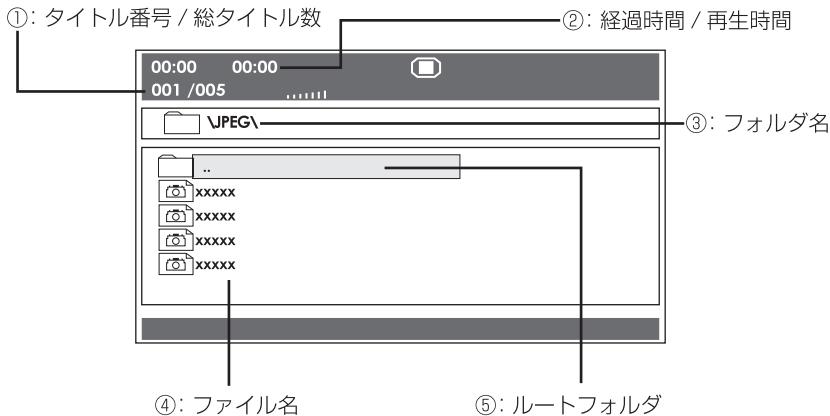
② ・・・「プログラム再生」画面を終了します。

③ ・・・ ①に登録したプログラム再生をスタートします。

④ ・・・ 上図と同様の画面になり、11 ～ 20 番目までプログラム再生を登録できます。

●ディスクによってはプログラム再生機能が有効にならない場合があります。
●DVD ビデオディスクによってはタイトルが記録されていない場合があります。
●ビデオ CD、オーディオ CD はトラックのみの選択となります。

ファイルメニューの基本操作

本機では対応フォーマット形式の動画ファイルや音楽ファイル、画像ファイルが記録されたディスクが再生できます。ディスクをセットすると自動的に下図のファイルメニューが開き、画面からファイルを選択できます。

■ファイルメニューの基本操作

リモコンのカーソルボタンで再生したいファイルを選択し、【ENTER】ボタンを押してください。ファイルが再生または表示されます。上図の⑤: ルートフォルダを押すと、ルートフォルダ画面に戻ります。別のフォルダに移動したい場合は、フォルダを選択し【ENTER】ボタンまたはカーソルボタンの左右で移動してください。

■ファイルの再生方法と機能

基本操作は DVD ディスク再生時と同等になりますので P.26「再生（基本編）」をご覧ください。

- ●対応ファイルに関しては、P.45「仕様」をご覧ください。記載されていないファイルに関しては対応外となります。対応ファイルでもファイルによって再生できない場合があります。
- ●表示可能なファイル名は半角英数で 10 文字までとなります。日本語ファイル名は表示されませんのでご注意ください。

動画ファイル / 音楽ファイルを再生する

動画ファイル / 音楽ファイルの再生時に以下の便利な機能があります。

■テンキーボタンを使って指定したファイルを再生する（動画ファイル / 音楽ファイル）

対応ファイルが入っているフォルダを開き、リモコンのテンキーボタンでタイトル番号を指定して頭出しできます。ファイルメニュー画面、ファイル再生中のどちらの状態でも実行できます。

画面左上部のタイトル番号の箇所に、「--2/009」（テンキーボタンの【2】を押した場合）のように、選択した番号が反転表示されるので、リモコンの【ENTER】ボタンを押して決定してください。

- ●2 桁以上の番号を入力する場合は、1 桁ずつ順番に入力してください。なお、テンキーボタンの【10】は 0 になり、【10+】は機能しません。
- ●対応フォーマットの形式に関しては、P.45「仕様」をご覧ください。記載されていないファイルフォーマットに関しては、対応外となります。
- ●対応フォーマットであってもファイルによって再生できない場合があります。

■ファイルの経過時間 / 残り時間の表示（動画ファイル）

再生中の動画ファイルの経過時間や、残り時間を画面に表示させて確認できます。

ファイルの再生中にリモコンの【OSD】ボタンを押すと、「シングル経過時間」→「シングル残り時間」→「ディスプレイオフ」が選択できます。

- ●ディスクの状態やファイルの状態によっては時間が正常に表示されない場合があります。

■リピート再生する（動画ファイル / 音楽ファイル）

再生中の動画ファイル / 音楽ファイルをリピート再生できます。

REPEAT

ファイルの再生中にリモコンの【REPEAT】ボタンを押すと、「シングル」→「シングルリピート」→「フォルダリピート」→（オフ）が選択できます。

- ●ディスクの状態やファイルの状態によっては機能が正常に動作しない場合があります。

画像ファイルを表示する

画像ファイルのスライドショー表示中に以下の便利な機能があります。
「テンキーボタンを使って指定したファイルを再生する」と「リピート再生する」については P.35
「動画ファイル / 音楽ファイルを再生する」をご覧ください。

■表示されている画像を回転させる

カーソルボタン【左】　・・・　反時計回りに 90 度単位で回転表示します。
カーソルボタン【右】　・・・　時計回りに 90 度単位で回転表示します。
カーソルボタン【上】　・・・　水平にフリップ表示します。
カーソルボタン【下】　・・・　垂直にフリップ表示します。

■表示されている画像を拡大表示する

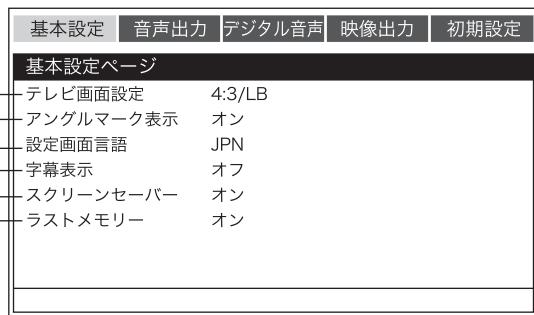
リモコンの【ZOOM】を押して、画面左上に「ズーム　100%」と表示されている最中に【FWD】を押すと「125%」「150%」「200%」と拡大表示できます。
【REV】を押すと「75%」「50%」と縮小表示できます。
拡大表示中にカーソルボタンで表示位置を自由に移動できます。

本体設定

セットアップ画面の操作

本機の設定を変更するにはセットアップ画面で設定します。

リモコンの【SETUP】ボタンを押すと下図のように表示されます。リモコンのカーソルボタンで「基本設定」「音声出力」「デジタル音声」「映像出力」「初期設定」が選択できます。

基本設定

基本設定の変更ができます。

①: テレビ画面設定 ・・・ 「4：3/PS」「4：3/LB」「16：9 ワイド」が選択できます。

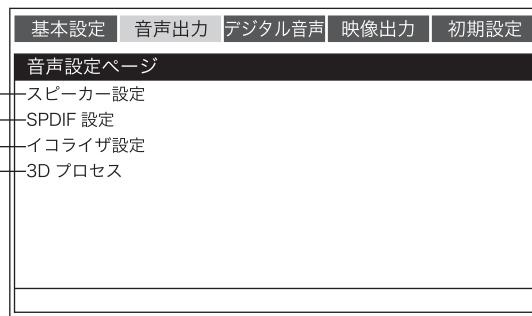
②: アングルマーク表示 ・・・ DVD ディスクにアングルが収録されている場合、アングルマークを表示するか「オン」「オフ」で設定できます。

③: 設定画面言語 ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます。

④: 字幕表示 ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。

⑤: スクリーンセーバー ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。4 分間操作しないと動作します。スクリーンセーバーを解除するには、リモコンのいずれかのボタンを押してください。

⑥: ラストメモリー ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。

音声出力

音声出力の設定が変更できます。

①: スピーカー設定　・・・　「LT/RT」「ステレオ」が選択できます。「LT/RT」はサラウンド成分をドルビーサラウンドデコードできるようにダウンミックスします。

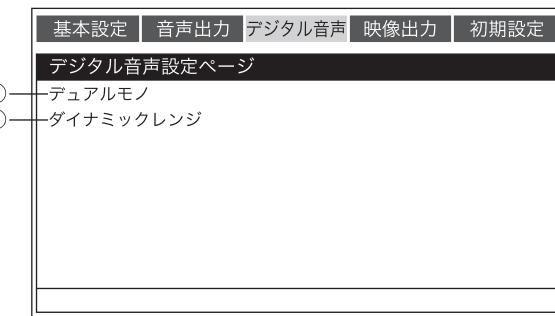
②: SPDIF 出力　・・・　「Spdif/Off」「Spdif/RAW」「Spdif/PCM」が選択できます。
組み合わせは以下の通りになります。

	Spdif 設定		
出力端子	Spdif/off	Spdif/RAW	Spdif/PCM
コンポジット端子	ステレオ出力	ステレオ出力	ステレオ出力
光デジタル端子	未出力	5.1ch アンプで出力	ステレオ出力
同軸デジタル端子	未出力	5.1ch アンプで出力	ステレオ出力

※「5.1ch アンプで出力」の組合せを選択時にステレオ機器と接続すると音が途切れたようなノイズが出力されますのでご注意ください。

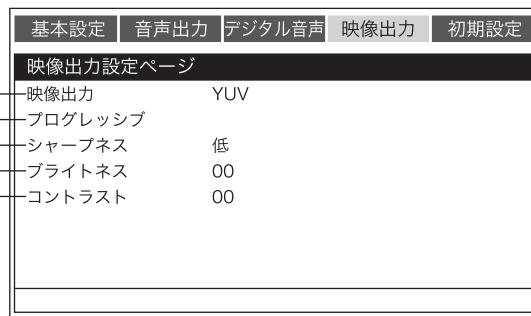
③: イコライザ設定　・・・　「なし」「ロック」「ポピュラー」「ライブ」「ダンス」「テクノ」「クラシック」「ソフト」が選択できます。

④: 3D プロセス　・・・　「ＰＬ２」　・・・　「オン」「オフ」が選択できます。
「リバーブモード」　・・・　「オフ」「コンサート」「リビング」「ホール」「浴室」「洞窟」「アリーナ」「教会」が選択できます。

デジタル音声

デジタル音声の設定が変更できます。

①: デュアルモノ　・・・　「ステレオ」「モノラル左」「モノラル右」「モノラルミックス」が選択できます。

②: ダイナミックレンジ　・・・　「OFF」「1/8」「1/4」「3/8」「1/2」「5/8」「6/8」「7/8」「FULL」が選択できます。

映像出力

映像出力の設定が変更できます。

①: 映像出力 ・・・ S1 映像端子で出力する場合は「Svideo」、コンポーネント映像端子で出力する場合は「YUV」を選択してください。

②: プログレッシブ ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。

③: シャープネス ・・・ 「高」「中」「低」が選択できます。

④: ブライトネス ・・・ 「−20」〜「+20」で調整できます。

⑤: コントラスト ・・・ 「−16」〜「+16」で調整できます。

次の現象が発生した場合、以下の内容をご確認ください。

●現象

S1 映像端子で接続していて、映像が出力されなくなった。

●ヒント

本機の OSD メニュー（取扱説明書 P.40）で「映像出力」を「Svideo」に設定した後、リモコンの【N/P】ボタンを押して、映像方式を「PAL」→「自動」→「NTSC」の様に切り替えていませんか。

「映像出力」を「Svideo」に切り替えた後に映像方式を切り替えると、設定が工場出荷値の「YUV（コンポーネント）」出力にリセットされます。

この場合、画面に映像が出力されていない状態でも、リモコンの【V-MODE】ボタンを押すと「テレビタイプ」の設定を「YUV」→「Svideo」と切り替えることができますので、ご確認ください。

●解決しない場合は

上記の手順で変化が無い場合は本機の電源を一度落としてから、もう一度電源を入れて操作を行うか、コンポジット端子で接続し直して「映像出力」を再設定してください。

初期設定

初期設定の変更ができます。

①: テレビタイプ ・・・ 「PAL」「自動」「NTSC」が選択できます。日本は「NTSC」になります。

②: 音声出力
③: 字幕言語
④: メニュー言語 ・・・ 「英語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「日本語」「韓国語」「ロシア語」「タイ語」が選択できます。

⑤: 視聴制限 以下が選択でき、数値が小さいほど、制限が厳しくなります。
1「KID SAFE」/2「G」/3「PG」/4「PG 13」/5「PGR」/6「R」/7「NC17」/8「ADULT」

⑥: パスワード ・・・ P.42「パスワードの設定」をご覧ください。

⑦: 初期設定 ・・・ セットアップ画面の設定を出荷値に戻します。

■パスワードの設定

視聴制限を変更する場合にパスワードが求められます。そのパスワードの設定をこの項目から変更できます。

旧パスワード	
新パスワード	
パスワード確認	
OK	

パスワードは数字 6 桁で設定できます。パスワードを変更する場合は、すでに設定してあるパスワードを「旧パスワード」の覧に入力してください。その後、カーソルが自動的に下に移動しますので「新パスワード」の覧に新しく設定したいパスワードを入力してください。さらに確認の為に「パスワード確認」の覧にもう一度パスワードを入力し、「OK」ボタンで確定してください。

●初期設定にリセットを行っても、パスワードはリセットされません。
●「旧パスワード」の初期値とマスターパスワードは「136900」になります。変更したパスワードが分からなくなった場合は「旧パスワード」の覧にマスターパスワードを入力し、再度「新パスワード」を入力し直してください。 （マスターパスワードの変更はできません。）
●パスワードの入力覧の表示は数字で表示されません。「XXXXX」で表示されます。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。
映像が映らない	●電源が ON になっているか確認してください。 ●本機とテレビとの映像 / 音声端子の接続が正しく設定されているかをご確認ください。 ●セットアップ画面で設定した映像出力と実際に接続した映像 / 音声端子の設定を同じにしてください。
再生できない	●本機で再生できるディスクか確認してください。 ●ＤＶＤディスクはリージョン番号を確認してください。本機のリージョン番号は「２」です。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。１～２時間放置してください。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
音声が出ない	●本機、リモコンの音量レベルを確認してください。 ●再生一時停止中、ステップ再生中に音声は出ません。 ●セットアップ画面の「音声出力」設定を確認してください。
雑音が出力される	●P.38「音声出力」の組み合わせを確認してください。

症状	対処
リモコンがきかない	●電池の+、-の向きを確認してください。 ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。 ●リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。 ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
字幕言語が切り換えられない	●字幕の入っていないディスクでは切り換えできません。 ●複数の字幕の入っていないディスクでは切り換えできません。 ●【SUBTITLE】ボタンで切り換えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り換えできる場合があります。
字幕が出ない	●字幕の入っていないディスクでは字幕は表示されません。 ●字幕が「オフ」になっている場合は、【SUBTITLE】ボタンで切り換えてください。
音声言語が切り換えられない	●リモコンの【SETUP】ボタンにて表示される「基本設定」の「テレビ画面設定」メニューを、ご使用のテレビに合わせて設定してください。また、テレビ側の画面表示設定もご確認ください。
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り換えできません。 ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えできます。
チャプターが戻れない	●CPRM で記録されたディスクの一部で、リモコンの【PREV】ボタンを押しても前のチャプターに戻れない現象を確認しております。 【PREV】ボタンを 2 回続けて押すと、前のチャプターに戻ることができる場合があります。※全てのディスクで保証するものではありません。
4：3で収録された映像を、4：3で見ることができない	●リモコンの【SETUP】ボタンにて表示される「基本設定」の「テレビ画面設定」メニューを、ご使用のテレビに合わせて設定してください。また、テレビ側の画面表示設定もご確認ください。
すべての設定を初期設定に戻したい	●リモコンの【SETUP】ボタンにて表示される「初期設定」のリセットより工場出荷値の設定に戻してください。

仕様

製品型番	GHV-DV200 シリーズ
再生可能ディスク	DVD ビデオ / ビデオ CD/ オーディオ CD/CD-R/CD-RW/ DVD±R/DVD±RW/DVD±DL
再生可能フォーマット	MPEG2/MPEG1/Xvid/MP3/WMA/JPEG
信号方式	NTSC/PAL（手動切換可能）
音声周波数特性	20Hz ～ 20KHz
S/N 比	92dB 以上
ダイナミックレンジ	80dB 以上
搭載出力端子	コンポーネント映像端子（Y、Pb/Cb、Pr/Cr）× 各 1 S1 映像端子 ×1 コンポジット端子（黄、赤、白）× 各 1 光デジタル音声端子（角形）×1 同軸デジタル音声端子 ×1
電源	AC 100V（本体に直結）
消費電力	最大 10W
動作温度範囲	5℃～ 45℃
動作湿度範囲	10% ～ 50%（結露なきこと）
外形寸法	W 225 x D 228x H 53 (mm)（本体のみ）
重量	1.2kg（本体のみ）

●仕様および本機のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

製品構成

製品構成

●GHV-DV200（本体）	・・・1 台
●専用リモコン	・・・1 個
●映像 / 音声出力専用ケーブル (コンポジット)	・・・1 本
●単 4 形アルカリ乾電池（リモコン用）	・・・2 本
●取扱説明書（本書）	・・・1 部
● 1 年間保証書	・・・1 部

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　カスタマサポート
URL	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-5749
受付時間	10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00　（弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（２４時間受付）
住所	〒153-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル４階

カスタマサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願い致します。
サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。
ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。
(http://www.green-house.co.jp/support/)

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GHV-DV200シリーズ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.2.0